

熊本学園大学水俣学研究センター
水俣病公式確認60年国際シンポジウム

カナダ先住民の 水俣病と水銀汚染

カナダ先住民登壇者 *予定

サイモン・フォビスター (グラッシーナロウズ チーフ)
ルーシー・フォビスター (グラッシーナロウズ)
マーヴィン・リー・マクドナルド (ヴァバシムーン)

写真: グラッシーナロウズの湖

2017

2/18(土) 13:30~

熊本学園大学 14号館 1411教室

- I カナダ先住民代表による報告
- II 2014年調査報告

2/19(日) 13:00~

水俣市公民館 2階 ホール

- I カナダ先住民代表による報告
- II 日本とカナダの現状と課題
- III 水俣病被害者からの報告
- IV 討論と交流会

カナダ・オンタリオ州の2つの先住民居留地で、1975年・76年の現地調査を踏まえて「水俣病が起きているのではないか」と最初に報告したのは原田正純医師であった。イングリッシュ・ワビグーン流域のドライデン製紙工場から排出された水銀が、グラッシーナロウズとヴァバシムーンという2つの先住民居留地の健康と生業を奪った。その後、2000年代に入り、水俣学研究センターによる4回の現地調査によって、カナダ水俣病の状況が少しずつ明らかになってきた。

こうした交流を通して、世界の水俣病被害の実情と補償、および水銀汚染についての調査研究ならびに被害民の補償救済に関して、一歩でも前進することを期待したい。

問い合わせ先

熊本学園大学水俣学研究センター

TEL 096-364-8913 ・ FAX 096-364-5320

E-mail : minamata@kumagaku.ac.jp

本シンポジウムの一部はJSPS科研費15H03422の助成を受けています